

カリフォルニアの風

第7号 令和7年10月22日 発行
サンフランシスコ日本語補習校
校長 相澤 順

日本語で話そう

本補習校の中では、授業はもとより、一日を通して日本語を使う「日本語で話そう」ということが約束事になっています。個人によっては友人とつい英語で…、ということがしばしば見受けられます。

教員は折に触れ、学級や学年、全体で注意喚起したり、児童会や生徒会でも呼びかけをしたりしています。18日の幼小部SF校では6年生の朝の集会の中で、生徒（児童）指導主任より6年生に向けて、話をする時間がありました。以下、その内容を紹介しします（一部抜粋）。



「このポスターを見てください（写真左）。このポスターですが、これはずっと昔、20年くらい前から補習校の壁に貼られていたものです。ずっと上の卒業生の人にも「懐かしい〜」という人がいるかもしれないくらいのポスターになります。何でこれがあると思いますか？補習校でみんなが日本語を話していたら、こんなポスターはいらないですよね？昔から補習校で英語を話す人がいるから、『日本語で話そうよ！』とみんなに意識してもらうために作って、貼っていたのでしょうか。どうしたらみんなが日本語で話をしてくれ

るのか、試行錯誤してきたのでしょうか。このポスターはそうやってずっと補習校の中で受け継がれてきたのです。こういうことが補習校の文化・伝統の一つです。

文化や伝統は、昔の人から今の若い人へ受け継がれていくものです。もし、今の人が『もうこんなの面倒くさい！やめた』って言ったなら、伝統はどうなっていくと思いますか？（反応を見て）そうです。なくなっていくと思います。どんなに長く続いたことでも、終わるのは一瞬です。それは補習校でも同じ。みんなが英語の方が楽だ、英語でいいじゃん！って英語ばかり話すようになったら、それでこの補習校で続いてきた伝統はあっさり終わってしまいます。それでいいのでしょうか？それはみんなが望むことですか？補習校の伝統をあなたたちの代で終わらせていいのですか？

言葉は生きています。使ってなんぼです。友達と話をしているとき、『あれ、これなんて言うのだった？』って考えること、それが大事です。自分の頭で考えて、ひねり出して使った言葉は絶対に忘れません。そうやってどんどん自分のものにしていける。間違えたっていい、どんどん使う。友達の話聞いて、友達が使っていた言葉もどんどん使って自分のものにしていける。それが大事です。そうやって上達していきます。

運動会の時に、ボランティアで来ていた補習校中高部の卒業生たちを覚えていますか？彼らは大人と話すときは完ぺきな敬語を使って、小さい子たちには『よく頑張ったね！はかったね！』と優しい言葉をかけていました。とても美しい日本語を使いこなしていました。みんなは彼らを見てどう思いましたか？あんな風になりたいと思った人もいたのではないかな？

5年生の最後に卒業式でみんなが歌った歌、覚えていますか？「明日へつなぐもの」という歌でした。その中に卒業生に向けて、「ぼくらに残してくれたもの、明日へつなげるから」という歌詞がありました。今度は6年生のみんなが下級生に何かを残す番です。

この補習校の素晴らしい伝統、『日本語で話そう』を次世代に残すために、ぜひこれを実行して、日本語を話している姿を見せてあげてください。また、下級生に誇れるような行動をして、よいお手本を見せてあげてください。卒業まで補習校に通うのはあと18日だけです。今、何をすべきか、一人ひとりがよく考えて行動してください。将来なりたい自分を想像したら、今やるべきことは何か、おのずとわかってくるはずです…。」

6年生と一緒に聞いていて、しっかりと心の中に伝わってきました。6年生に向けたこのメッセージは4校の小・中・高の最上級生には、共通に目指してほしい内容であります。また、すべての子どもたちに、補習校にいる間「日本語で話そう」は、頑張って意識して心掛けてほしいと思っています。

子どもたちの日本語力の向上のために、これからも全教職員で粘り強く取り組んでいきます。保護者の皆様におかれましても、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「日本食を堪能しました！」フードセール開催：中高SF校



9月27日に生徒たちが一年間でとても楽しみにしている中高部行事、フードセールが開催されました。ラーメン、カレーを始め、総菜やスイーツなどもあり、昼休みのひととき、フェアを十分に楽しみました。勿論、教職員も楽しませていただきました。午後の授業の教室移動では、買ったスナックが大量に入った袋や箱を抱えて移動している姿が、微笑ましくもありました。



生徒たちのために、準備から当日の運営に至るまで、多くの保護者の方々にご尽力をいただきました。心から感謝いたします。ありがとうございました。（SF中高部主幹より）

「中高部でも大盛況！」古本市開催：中高SJ校

生徒たちが楽しみにしている保護者会主催の古本市が開催されました。開催時間近くなると、生徒たちは今か今かと、会場が開くのを待ち構えていました。今年度もお昼休み中、歓声が沸き、夢中になって買い物を楽しんでいました。日本語で書かれた書籍に親しみ、日本語で思考する力をさらに高めていってもらいたいと期待します。



当初開催を予定していた9月13日がオンライン授業になったため、10月4日に延期されました。急な延期となりましたが、保護者会の皆様には多大なご尽力をいただき、無事開催していただきました。ありがとうございました。（SJ中高部主幹より）



「笑顔いっぱい〜い！」秋祭り開催：幼小SJ校

10月11日、保護者会の皆様に「秋祭り」を開催していただきました。お祭り定番の金魚すくいや、的当て、がらがらくじ、ボウリング、型抜きなど、室内外に8か所のブースを設けていただきました。知的好奇心をくすぐられるものも多く、幼児から高学年まで十分に楽しめる内容になっていました。私も特別に「型抜き」に挑戦させてもらいましたが、最初だけは調子よく…、その後すぐに撃沈いたしました。



【破けないよう慎重に…：金魚すくい】

金魚すくいをしていた幼児が終了後に、景品としていただいた金魚2匹（ゴム製品）の入ったビニール袋の中に、大事そうに水を入れて持ち帰ろうとしていた姿がとても可愛らしかったです。笑顔で教室に戻る子どもたちに声をかけると、ロ々に「楽しかったよ！」という言葉が返ってきました。



先月の幼小部SF校の「秋祭り」と同様に、保護者会の皆様、担当ボランティアの皆様にはやり方などで、子どもたちに丁寧に言葉をかけてくださり、また、計画・準備・運営・片付けまできめ細かくご尽力をいただきました。誠にありがとうございました。

【「やる人も見る人も真剣です！」：型抜きの様子】